

閉校施設の利活用に向けた サウンディング型市場調査の実施結果概要について

旧忍路中学校施設の利活用案の作成に向けた「サウンディング型市場調査」につきましては、令和6年12月から令和7年3月まで実施いたしました。
その結果について、概要を公表します。

1 調査対象

旧忍路中学校の土地及び建物

2 利活用の基本的な考え方

- 地域の発展や本市のまちづくりに寄与すると考えられる事業であること。
- 原則として、現在の都市計画で定められている用途地域において認められている用途であること。
- 耐震化や改修にかかる費用及び建物を解体する費用は、いずれも事業者の負担であること。

3 実施経過

令和6年12月23日 調査実施の公表・エントリー受付開始
令和7年1月9日 提案者Aが調査参加（エントリーシート提出）
令和7年2月19日 提案者Aが調査票提出
令和7年2月21日 エントリー受付終了
令和7年3月14日 調査期間終了

4 提案概要および対応状況

提案者A	
対象施設	旧忍路中
提案の内容	研究施設
【対応状況】 現地確認、対話を通じ施設の利活用方法等を確認。	

5 まとめ

本サウンディング型市場調査の実施結果は、参加希望(エントリー)が1件あり、現地確認及び対話を実施いたしました。

事業者からは土地及び建物を取得したうえで利活用する提案があり、民間活用の実現性を把握することができました。

今回の調査結果を踏まえ、閉校施設の活用について検討を進めてまいります。